

国際大学交流セミナー開講式にあたって

横浜国立大学

理事（国際担当）長島 昭

中国からおいでになった先生方と学生の皆さん、よくいらっしやいました。横浜国立大学を代表して歓迎の言葉を申し上げます。また、横浜国立大学の先生方と学生の皆さん、中国からの方々と共に学ぶこの貴重な機会を実り多いものとするように、よろしくお祈りします。

中国と日本の交流の歴史には、1700 年間にもわたる親しい交流のあとに、それをたった 20 年間で日本の誤った政策によって打ち壊す大変残念な時期がありました。それから 60 年が経過して、今私たちは、若い人々による新しい交流の時代を作りつつあります。

100 年ほど前に、中国の優れた歴史家が面白いことを言いました。「歴史では、古い歴史ほど新しい」というのです。どのような意味かわかりますか？だれでも自分の親のことは覚えています。最初に歴史を書こうと思いついた昔の人は、まず自分の親のこと、そして自分が見た出来事から書き始めます。次に自分の親から聞いた祖父や近い先祖のことを書きます。それから自分の村に残る墓や遺跡を調べて、少し古いことを書き加えます。そして最後に、自分たちの遠い先祖がどこから来たのか、想像して神話を書き加えるのです。つまり、古い歴史ほど新しく書き加えることになるのです。

今日ここに集まった私たちはこれから歴史を書き始めましょう。まず今日のこと、中国の学生と日本の学生の親しい交流を中心にすえて、まわりの世界を書きます。しかし、その歴史には、60 年前の不幸な歴史も書き加え、それを忘れないようにしましょう。さらに、最後に書くのは、その前の 1700 年間の親しい交流のことにしたいと思います。

今から 150 年ほど前に日本は、横浜の港を開いて西欧文化を輸入しました。その横浜に開かれた教員養成の学校が、横浜国立大学の始まりです。横浜国立大学は伝統を受け継いで、国際交流に熱心な大学です。大勢の留学生が勉強していますが、最も多いのは中国からの留学生です。ほとんどの日本人は、中国と友好的な関係を保つことを望んでいます。

国際交流で、最も大切なことは、他の国を実際に訪問して、その国の人々と実際に話し合うことです。中国から来た皆さんは、日本へ来て、日本の良いところも悪いところもよく見てください。日本人の学生諸君も、ぜひ中国を訪問して、中国のひとびとの生活を自分の目で見てください。今回のセミナーが、そのきっかけとなり、皆さんが将来の密接な日中交流のもとを築いてくださることを期待します。

最後に、今回のセミナーを可能にくださった日本学生支援機構ならびにみずほ国際交流奨学財団のご支援に対し、厚くお礼を申し上げます。

平成19年2月16日